* 感染症情報 *

伝染性紅斑（リンゴ病）

伝染性紅斑とは、風邪のような症状の後に、顔面、頬に蝶のような形あるいは平手打ち様といわれる紅斑がみられる。頬の真っ赤な発疹の状態から、りんご病（りんごのほっぺ）とも呼ばれている。

症状：風邪様症状と、引き続きみられる顔面の紅斑が特徴です。

発疹は両方の頬と手足の内側のやわらかい部分にレース状、網目状の紅斑として出現する。一旦消えても再発することもある。

潜伏期間：4～14日（～21日）

感染経路：主に飛沫感染

感染期間は風邪様症状が出現したとき。紅斑が出た時にはウイルスの排出はなく、他への感染力はない。

予防法・ワクチン：飛沫感染に対しての一般的な予防法（うがい、手洗いなど）
ワクチンはない。

登園の目安：発疹期には感染力がないので、発疹が出て全身状態が良い場合は登園が可能です。登園時には保護者記入の登園許可証をお持ちください